

○ update



内小3・4年生が カサゴ放流

銀河留学生の4名を含む、内之浦小学校3・4年生24名が5月19日、内之浦漁港で、カサゴ稚魚を放流しました。漁港への取材や藻場見学の活動を行っている、総合的な学習「銀河の時間」の一環です。子どもたちは「早く大きくなって、また内之浦の海に帰ってきてね」と声をかけていました。



宮富小で 心肺蘇生法講習

心肺蘇生法講習が6月10日、宮富小学校で実施されました。保護者らも参加し、東部消防署員を講師にダミー人形を使った胸骨圧迫の仕方やAEDの取り扱いについて、シミュレーションをしながら学びました。これから水に接する機会も増えるとあって、全員が真剣に取り組んでいました。



岸良小中で 梅の実収穫

岸良小・中学校の子どもたちが5月24日、校内にある梅の実の収穫をしました。長い棒で枝をたたいて実を落としたり、落ちた実を集めたりと役割分担をして作業を進めました。収穫した梅は、近隣の住民によって梅干しに加工されることになっており、子供たちはできあがりを楽しみにしています。



岸良小中で ウミガメ講演会

鹿児島大学水産学部の西隆一郎教授を講師にウミガメ講演会が岸良小中学校で6月10日に開かれました。小中学生16名に加え、保護者や地域の人々も参加しウミガメの生態や環境について学びました。小学5年生の後藤雄太郎さんは「採卵の時には今日学んだことをもとに卵を見つけた」と話しました。

代かきかねて 田んぼで競技

波野小学校の4・5年生が5月25日、校内の田んぼで代かきをかねて、どろんこドッジを楽しみました。今年はどうんこフックとリレーも加わり、子どもたちは水田に立てられたバトンを速くつかもうと思いきりよく泥の中に飛び込んでいました。泥だらけになった子どもたちは最後に翌日の田植えに備えて水田をきれいに整えました。



泥をはね上げながら競い合う子どもたち

地域住民ら生徒と ウォーキング教室

地域に開かれた学校づくりの一環として内之浦中学校が、5月13日、NPO法人健康づくりフォーラムの高橋彬さんを講師に健康づくりのための「ウォーキング教室」を実施しました。町教育委員会や地域住民ら約30名も参加、「子供たちの顔と名前を覚えることができたので、気軽に話しかけられそうだ」と話していました。



生徒と一緒にウォーキング